

あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換 ～安倍川流域における関係者の思い～



静岡市長

水災害から市民の命と財産を守る

近年の気候変動により全国的に風水害が多発しておりますが、安倍川流域の関係者と協働しながら、また本市の庁内関係部局と連携することで、流域治水プロジェクトを推進し、二つのlife（いのちとくらし）を守るため、安心・安全の確保に努めてまいります。



静岡土木事務所長

洪水を安全に下流へながし、被害の最小化を目指す河川改修

静岡土木事務所では氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策として護岸整備や河道掘削などに取組みます。

気候変動等の影響により、台風の大型化や局地的な豪雨が増加し、洪水や土砂災害はいつどこで起こってもおかしくない状況にあります。河川内での対策を着実に進めるとともに、関係機関と連携した流域治水を推進し、安全・安心な地域づくりに努めてまいります。



静岡水源林整備事務所長

森林を守ることが治水につながる

森林整備センター静岡水源林整備事務所は安倍川流域において、森林の水源涵養機能等、公益的機能を効果的に発揮させるために、水源林造成事業として間伐等、森林の整備・保全に取組み、流域治水に貢献します。



静岡河川事務所長

先人たちの思いを引き続き、将来につなげる

安倍川の治水は、今川義元公、徳川家康公により支流を併せ川筋を西に導き、新田開発と併せて霞堤を築き駿府の城下町を洪水から守りつつ街を発展させてきたことが始まりとされている。このような先人たちの取組が、今の発展の礎となっている。

令和の時代においても、先人たちの思いを引き続き、関係者の英知と力を結集し、気候変動により激甚化する水害・土砂災害を未然に防ぎつつ、地域のさらなる発展に尽力していく所存です。

あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換 ～安倍川水系流域治水プロジェクトが令和3年3月30日に策定されました～



安倍川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る流域治水対策～



河道掘削



護岸整備

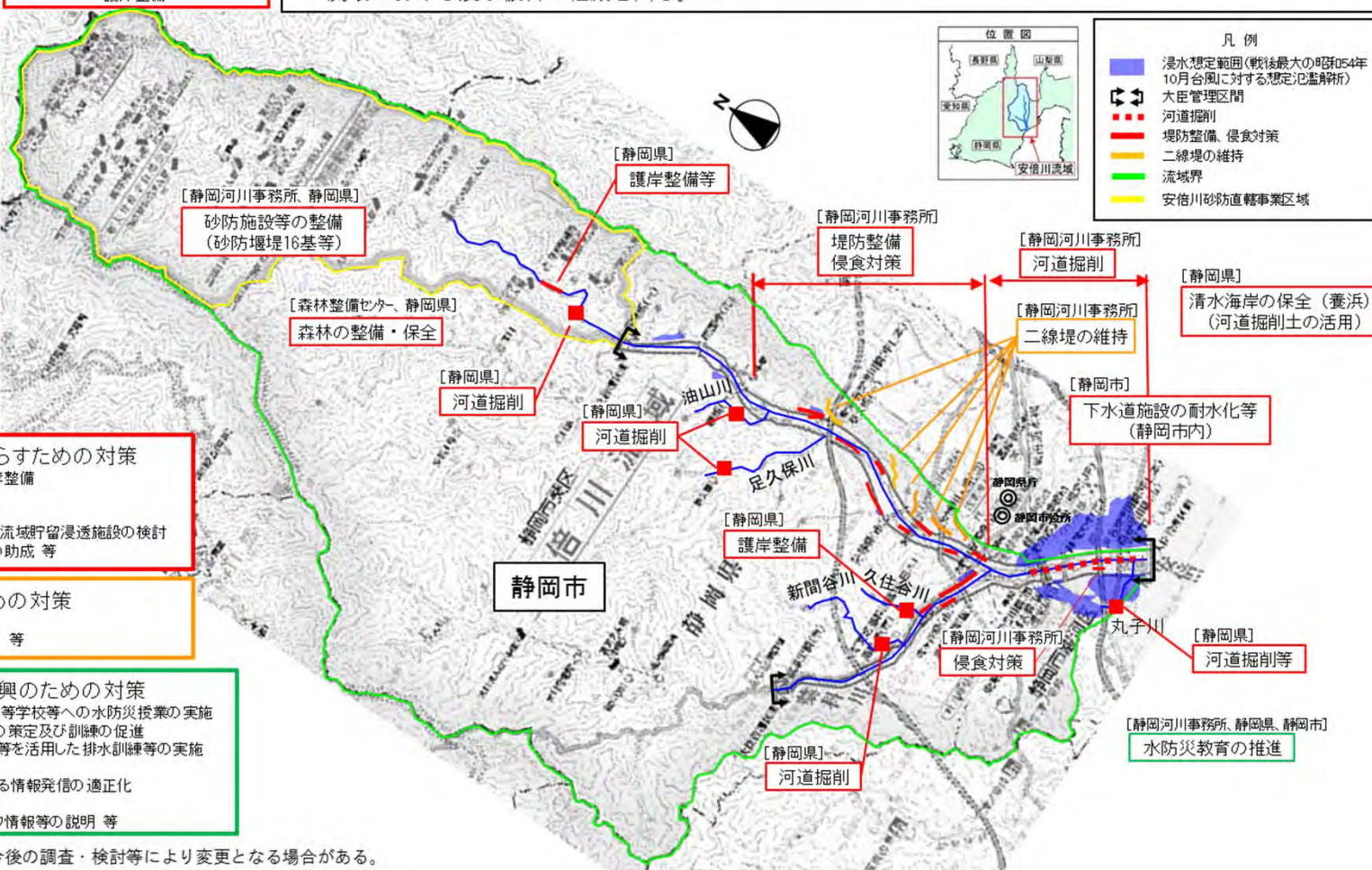
- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、安倍川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 下流部の氾濫域は、県庁所在地である静岡市街地として発展している反面、流域の地質が脆弱で、扇状地形のため安倍川が氾濫すれば土砂混じりの氾濫流が早い速度で拡散するなど水害リスクが高い地域であることから、砂防施設の整備、侵食対策、二線堤の維持、水防災教育の推進などを実施する。
- これらの取組により、国管理区間においては、戦後最大の昭和54年10月洪水を上回る洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図る。



二線堤の維持



水防災教育



- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
 - ・河道掘削、堤防整備、侵食対策、護岸整備
 - ・砂防施設等の整備
 - ・森林整備・治山事業
 - ・下水道施設の耐水化の取組み及び流域貯留浸透施設の検討
 - ・住宅等の雨水貯留浸透施設設置等の助成等

- 被害対象を減少させるための対策
 - ・二線堤の維持
 - ・静岡市立地適正化計画への反映等

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
 - ・水防災教育教材等を活用した、小中高等学校等への水防災授業の実施
 - ・要配慮者利用施設における避難計画の策定及び訓練の促進
 - ・国・各自治体が所有する排水ポンプ車等を活用した排水訓練等の実施
 - ・マタイムライン作成の推進
 - ・各種ハザードマップの電子媒体化による情報発信の適正化
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・宅地建物取引業団体への水災害リスク情報等の説明等

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

あらゆる関係者により流域全体で行う「流域治水」への転換 ～安倍川水系流域治水プロジェクトが令和3年3月30日に策定されました～



安倍川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る流域治水対策～

● 安倍川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】 静岡市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削、堤防整備、本川の侵食対策、流域貯留浸透施設の検討等を実施する。あわせて、被害軽減のため、二線堤の維持、立地適正化計画の検討等を行うことともに、マイタイムライン、住民の意識向上に向けた水防災教育教材の作成を実施する。
- 【中期】 河道掘削と合わせ、静岡市街地における侵食破堤のリスク軽減を図るため、安倍川本川下流部及び薬科川の侵食対策を実施。あわせて、被害軽減のため、二線堤の維持、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導等)、マイタイムラインの有効活用を図るため、住民の意識向上に向けた水防災教育を実施する。
- 【中長期】 洪水を安全に流下させる断面の確保を図るため、河道掘削、薬科川における侵食対策の推進を図ると共に、流域全体の安全度向上を図る。あわせて、被害軽減のための取り組みをあらゆる関係者と一体となって推進する。

【事業費(R2年度以降の残事業費)】

- 河川対策
全体事業費 約78億円 ※1
対策内容 堤防整備、河道整備、侵食対策 等
- 砂防対策
全体事業費 約173億円 ※2
対策内容 砂防施設の整備、森林保全 等
- 下水道対策
全体事業費 約0.5億円 ※3
対策内容 下水道施設の耐水化 等

※1:直轄及び各水系の河川整備計画の残事業費を記載
※2:直轄砂防事業の残事業費を記載
※3:流域治水における下水道事業計画の残事業費を記載

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期 R2~R3	中期 R3~R4	中長期 R4以降
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	直轄区間における市街地等を守る河道掘削、堤防整備、侵食対策	静岡河川事務所	堤防整備	堤防整備完了	河道掘削完了
	指定区間における市街地等を守る護岸整備 等	静岡県	河道掘削	護岸整備等完了	
	砂防施設等の整備	静岡河川事務所 静岡県	本川の侵食対策	砂防施設等の整備	
	下水道施設の耐水化の取り組み	静岡市	下流・薬科川の侵食対策	施設配置等の計画策定	
	流域貯留浸透施設の検討	静岡市	薬科川の侵食対策	計画策定	下水道施設の整備
	森林の整備・保全	森林整備センター 静岡県	流域貯留施設の検討	流域貯留施設の整備	
被害対象を減少させるための対策	二線堤の維持	静岡河川事務所			
	静岡市立地適正化計画への反映	静岡市	立地適正化計画に基づく防災指針の作成		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	マイタイムラインの活用	静岡河川事務所 静岡県、静岡市	マイタイムラインの作成		マイタイムラインの実行更新
	水防災教育教材等を活用した、小中高等学校等への水防災授業の実施	静岡河川事務所 静岡県、静岡市	水防災教育教材の作成		水防災教育の実施



点線:策定、検討
実線:施工、運用

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。